

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年1月6日

事業所名:児童発達支援事業所P-S

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用人数に応じて部屋を使い分けています。	はい:22名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:1名、未回答:1名 ・他事業所の広さがわからないので比較できない。 ・少人数での活動なので十分だと思います。	今後も日々の利用定員に応じたスペースの確保に努めていきます。
	2	職員の適切な配置	子どもの発達状況、特性、ニーズ等に合わせて子ども1名に対して職員1名での対応や子ども3名に対して職員2名の配置などを行っています。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 ・とても適切であると思う。	今後も現状の職員配置を維持できるよう努めていきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・階段の上り下りが難しいお子様には1階の和室を利用していただいています。 ・玄関の段差に段差があるため、高低差を小さくするよう足置き台を設置しております。また、靴を置く場所が明確となるように目印をつけるなど、視覚的な手がかりを活用しています。 ・階段にはすべり止めマットを敷き、転倒防止に努めています。	はい:22名、どちらともいえない:1名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:1名 ・集団、個別と部屋を分けているのでわかりやすい。階段は子どもには少し急だが、滑り止めがつけてあり工夫されています。 ・家一軒が事業所になっているため、とても分かりやすい環境になっていると思う。 ・机とイス、シンプルな環境で集中できていると思います。	現在、玄関外の段差、玄関内の段差、階段といった箇所の改築予定はありませんが、移動時に危険が伴う可能性がある場所は、職員が付き添い、安全に配慮します。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・玩具は定期的に洗濯や洗浄、日光消毒をおこなっています。また、使用した玩具や玩具を口にに入れるなど汚れた場合は終了後に洗浄、消毒をおこなってから使用しています。 ・各居室は、毎日サービス提供終了後に清掃、消毒をしています。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 ・子どもが飽きないように玩具がたくさんありますが、いつもきれいにされています。 ・清潔で整理整頓されており、子ども活動にあった空間だと思う。 ・机とイス、シンプルな環境で集中できていると思います。	引き続き環境整備に努めていきます。
業務	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・全職員で毎朝の朝礼時間と週1回の職員会議の場で気づいたことを話し合うようにしています。 ・業務担当を年度ごとにローテーションすることで、多くの職員の視点が入るようにしています。 ・360° 評価を取り入れた人事評価制度を実施しています。		今後も職員間での意見交換の機会を設け、業務の改善に努めていきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第3者評価等の外部評価は実施していませんが、契約している社労士、税理士から指導、助言をいただき運営しています。		今後、第3者評価等の外部評価の活用を検討していきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
改善	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研修の案内を回覧しています。外部研修に参加しやすいよう、受講料や交通費といった研修費の支給体制を整備しています。 ・職員体制の都合上、従来は平日(サービス提供日)に開催される研修に参加することが難しかったですが、今年度はオンラインで研修が開催されることが多かったため、複数の研修にオンラインで参加しました。 ・内部研修の定期的に実施しています。内容は、非常災害時の対応や感染症対策、支援内容の事例検討等を行っています。		今後もより良いサービスが提供できるよう、職員の資質向上を目的とした取り組みを実施していきます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズを聞き取った後に、複数の職員で話し合い、課題等を分析した上で計画の作成を行っています。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 ・計画書やして欲しいことなどをお話すると、すぐに実践してくれてありがたいです。	今後も十分にニーズを聞き取り、複数の視点から課題等を分析したうえで児童発達支援計画の作成に努めていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じて個別支援と集団支援を行っています。一人一人の状況に合わせた内容の計画に努めています。	・毎回のフィードバックはもちろん、保護者のニーズを丁寧に汲み取って計画を作成してくださっていると思う。 ・家庭での様子などから必要な支援計画を立てて下さり、子どもも楽しみながら参加できています。 ・大いにされていると思う。そのおかげで子どもの苦手が少しずつ減り、できることが増えている。	今後も子ども一人一人の状況に応じた支援が提供できるよう、児童発達支援計画の作成を行っています。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画作成時には最終的な到達目標を検討したうえで、段階的に目標が達成できるよう細分化した目標の設定して記載したり、自発性を促進するための支援方法等を具体的に記載したりするようにしています。		今後も設定した目標が達成できるように、段階的な支援の内容や具体的な支援内容を児童発達支援計画に記載するよう努めていきます。
適切な支援の	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画で設定した目標が達成できるように、段階的に活動を実施しています。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 目標に向けた支援が毎回丁寧に行われていると思う。	今後も計画に沿って、段階的に活動を実施していきたいと思います。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で活動内容や支援方法を話し合う機会を設けるようにしています。その場面で様々な意見交換を行うようにし、そこで出た意見を次の活動プログラム等に反映するようにしています。		今後も職員間での話し合いを通して活動プログラムを検討していきます。子どもたちにとって楽しみや成長につながるような活動プログラムの立案に努めていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	保護者の予定に合わせてサービスの提供時間の変更に対応できるようにしています。また、体調不良等で休みとなった場合は、定員に空きがある日を提案し、振り返り利用を提案しています(希望者に対して)。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 ・先生の手作りのものもあり、新しいことなども色々してくださっています。 ・いつも工夫されていると思う。 ・新しい玩具など、子どもが飽きない工夫をされていると思います。	可能な限り柔軟に対応していきたいと思います。難しい場合には、代替案を提示するなどして対応していきたいと思います。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムが固定化しないような工夫を実施していますが、活動内容によっては継続して実施することで発達が促進されるものもあるため、意図的に固定化した活動もあります。		今後も子どもたちの興味を引きつつ、成長につながるように活動プログラムを工夫していきたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供 (続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には、前回の記録を確認しあらためて振り返りを行ったうえで、その日の支援内容や役割分担等を検討し、職員間で確認を行っています。		今後も支援開始前に十分に準備したうえで子どもたちの受け入れを行いたいと思います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に職員間で振り返りの機会を設けています。スケジュールの都合上、当日中に振り返りができない場合は後日実施しています。		今後も支援終了後には職員間で振り返りの機会を設け(難しい場合には後日)、子どもたちの様子について情報の共有を図っていききたいと思います。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援内容やその結果を記録に残しています。その記録を児童発達支援管理責任者が確認した後に保護者にも確認してもらっています。また、その記録をもとに次回利用時の活動内容や支援内容を検討しています。		正確かつ分かりやすい記録を残していきたいと思います。また、その記録をもとに目標の進捗状況を把握し、次回の活動プログラムや支援方法などを検討していきたいと思います。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	少なくとも6カ月に1回はモニタリングを行い、計画の見直しを実施しています。計画見直し時は、児童発達支援管理責任者と担当者だけでなく、他の職員も話し合いに参加するようにしています。		引き続き定期的なモニタリングと児童発達支援計画の見直しを行っていきます。
関係	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	子どもの状況を最も把握している担当者が会議へ参加するようにしています。どうしても参加が難しい場合には、事前に検討課題を聞き取った上で書面にて情報提供を行っています。		会議に対して可能な限り参加していきたいと思います。参加が難しい場合には、書面等の別手段で情報の提供を行っていききたいと思います。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はありません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はありません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて引継ぎのための情報提供書の作成をおこなっています。また、依頼があった場合には引継ぎのための担当者会議等への出席も行っています。		ご希望いただいた全ての利用児童に対して、情報提供書を作成していきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
機関との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供。	放課後等デイサービスは実施していません。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修の案内があった場合は職員に回覧しています。研修にかかる受講料や交通費などの支給体制を整備しています。		職員の資質向上のため、可能な限り研修を受講していきたいと思います。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	保育所、認定こども園、幼稚園等との交流の機会は提供できていません。契約している28名のお子さんのうち、27名が保育所等に通園しているため、園での生活を中心としている利用児が多いです。並行通園している児童は、通園前もしくは通園後に事業所を利用する形となっています。	はい:9名、どちらともいえない:4名 いいえ:4名、わからない:6名、未回答:1名 ・現時点でそういった機会の有無について聞いたことはないが、個人的にはなくても良いと思う(今の活動で十分成長が見込める)。	利用している多くの子どもたちが保育所、認定こども園、幼稚園に在籍し、並行して利用しているため、現在のところ交流の機会を設定する予定はありません。ただし、多くの要望がある場合にはその機会を検討していきたいと思います。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の行事に対して地域住民を招待することは実施していません。事業所として、地域の行事に参加することも今年度は実施していません。ただし、依頼があれば他事業所や保育所、こども園、幼稚園等からの見学は受け入れています。		今後も依頼があれば見学の受け入れをおこなっていききたいと思います。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容については、毎回サービス提供終了後の振り返りの機会を設けて実施しています。利用者負担については、契約時に書面を提示しながら説明を行っています。また、月々の利用料については、請求時に利用明細書を提示して説明を行っています(ただし、現在契約している28名の児童のうち27名が無償化対象の年齢となっています)。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 ・体験時と入所する際に丁寧な説明があった。	今後もわかりやすく丁寧な説明に努めていきたいと思います。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画案作成後に内容の説明を行っています。モニタリング時には計画内容を振り返りながら、評価を実施していますが、日々の振り返りの中で計画を示しながら支援内容を説明することはできていません。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 ・丁寧な説明があった。 ・近い目標から最終の目標までの計画を立てています。	計画作成時、説明時とも専門用語の使用を避けた、わかりやすく丁寧な説明に努めていきたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは実施していません。しかし、サービス提供後の振り返りの機会を活用して、家庭や園での対応やかかわりについて話す機会を設けています。また、家庭での困りごとの場面を事業所で設定して、職員が実施→職員と保護者で実施→保護者が実施などと、家庭でも対応できるよう段階的に実施する機会などを設けるようにしています。	はい:20名、どちらともいえない:0名 いいえ:1名、わからない:3名、未回答:0名 ・ご自宅ではこうしてくださいねというような具体的な助言がある。 ・こんな風に伝えると本人に上手く伝わりやすいなど、適切な意見をいただけ嬉しいです。	「ペアレントトレーニング」といった新たな場を設けることは、現在のところ予定していません。サービス提供時に同席いただいたり、サービス提供終了後に振り返りの機会を設けているため、家庭等の日常場面での対応方法等について協働して検討していきたいと思います。いつでも職員に伝えていただければと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	サービス提供後に振り返りの機会を設けています。その際に、課題の進捗状況、取り組みの様子に合わせた今後の展望などをわかりやすく説明できるよう心掛けています。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 ・いつも最後に先生と話す時間を設けてくださっているのも、その日の状況がすぐに聞けて安心しています。	毎回実施しているサービス提供終了後の振り返りを今後も継続していきます。その際には、現在の課題の内容、課題の進捗状況、取り組みの様子に合わせた今後の展望などをわかりやすく説明し、共通理解を図ってきたいと思います。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	児童発達支援計画のモニタリングやニーズの聞き取りといった機会で見守り支援管理責任者との面談機会は設けていますが、頻度自体は少ないと思います。しかし、サービス提供後に毎回振り返りの機会を設けており、その際に、活動内容の振り返りだけでなく、日々の困りごとなどに対しても相談にのっています。	はい:18名、どちらともいえない:3名 いいえ:0名、わからない:3名、未回答:0名 ・相談に対し、とても丁寧に親身になって助言して下さいと思う。 ・家での様子を聞いてくれて、子どもの状況を一緒に考えてくれます。 ・随時、聞きたいことには助言をいただいています。	今後も日々の振り返りの中で、相談に対して適切な対応と必要な助言の実施をしていきたいと思います。いつでも職員に伝えていただけたらと思います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者同士の連携支援は実施していません。	はい:3名、どちらともいえない:5名 いいえ:6名、わからない:10名、未回答:0名 ・そのような活動はないが、個人的にはその必要はないと感じる。	ご希望があれば前向きに検討していきたいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応体制を整備しています。苦情があった場合は、その対応マニュアルに沿って対応させていただきます。	はい:14名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:10名、未回答:0名 ・現時点で苦情の話聞いたことはないが、あったとしたら適切に対応して下さいな印象。	苦情対応について、契約時に説明をさせていただいていますが、今後は契約時にさらに詳細に説明していきたいと思います。また、追加で書面での説明についても検討していきたいと思います。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもの特性に応じて、視覚的な手がかりを活用するなど、コミュニケーション手段を検討しています。保護者向けのものでは、必要に応じて書面やメモを活用しています。	はい:23名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:1名、未回答:0名 ・いつも丁寧に配慮して下さい。 ・先生に相談しやすい環境をつくってくれています。	今後も一人一人に合わせた手段を検討し、情報の伝達を行っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報の発行はしていません。サービス提供後に、その日の活動内容を振り返る時間を設けているため、その際に必要な情報を伝えるようにしています。	はい:8名、どちらともいえない:3名 いいえ:5名、わからない:8名、未回答:0名 ・発信はないが通所の際に丁寧に説明を受けているので、その必要はないと個人的には思う。	サービス提供終了後の振り返りの時間を使って、必要な情報をお伝えさせていただきたいと思います。必要に応じてホームページへの記載もしていきたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いに関する同意書にサインをいただいています。それを基に対応を行っています。例えば在籍している子ども園等から連絡があった場合にも、保護者から同意をいただいた上で情報の提供をおこなっています。	はい:24名、どちらともいえない:0名 いいえ:0名、わからない:0名、未回答:0名 ・注意されていると思う。	今後も個人情報の取扱いには、十分に注意して対応していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは年に1回全職員で読み合わせを行い、情報の共有を図っています。加筆、修正が必要な場合は、その際に実施しています。 保護者への周知は、緊急時対応は契約時に説明を行い、児童発達支援計画に避難先を記載しています。防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは保護者へ説明を行っていますが、防犯対策として民間警備会社との契約、窓ガラスへのミラーフィルムの貼り付け、防犯用品の設置をおこない、感染症対策として入室時の検温や手指消毒等にご協力いただいています。	はい:22名、どちらともいえない:0名 いいえ:1名、わからない:1名、未回答:0名 ・説明を受けている。	今後も情報の周知徹底を図っていききたいと思います。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害発生に備えて、職員が事業所から指定避難場所までの経路を実際に歩き、危険箇所等の把握、情報の共有を行っています。また、災害時の対応マニュアルの読み合わせを通して、情報の共有を図っています。また、来所時には避難誘導が発生することを想定し、スリッパ等の履物ではなく靴で来所いただくようお願いしています。 その他、地震発生時の避難訓練を利用児童に対して実施しました。	はい:13名、どちらともいえない:3名 いいえ:2名、わからない:6名、未回答:0名 ・定期的に訓練が行われているか否か不明だが、行われていたら安心する。	訓練を実施していましたが、情報の発信が不十分だったため、今後情報発信のあり方について検討していききたいと思います。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	令和3年度は、児童発達支援管理責任者が虐待対応力向上研修に参加予定となっています。研修参加後は、受講した研修内容を職場内にて内部研修として実施する予定としています。		研修受講後は、職場内で内部研修という形で研修内容の情報提供を行い、全職員で情報を共有し、対応力の向上に努めていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現時点で身体拘束の実施はありませんが、やむを得ず実施する場合には、組織的な決定、子どもや保護者に対して事前に十分な説明を行い了解を得ること、児童発達支援計画に記載することを遵守した上で実施します。		やむを得ず実施する場合には、組織的な決定、子どもや保護者に対して事前に十分な説明を行い了解を得ること、児童発達支援計画に記載することを遵守した上で実施します。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在のところ食事提供自体行っていませんが、お菓子を提供することがあるため、食物アレルギー等の有無を契約時に書面で聞き取っています。書面でアレルギーが確認された場合は、詳細事項を聞き取り対応を検討しています。		アレルギーの有無の確認を徹底し、確認後は職員間で情報を共有していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットに関する事案が発生した場合は、報告書を作成して職員会議にて情報の周知をしています。加えて対応方法も検討しています。		様々な場面で気づきを多く持てるような、職場環境の構築に努めていきたいと思っています。